



第21回日本トライアスロン選手権東京大会

NTT Triathlon Japan Ranking

NTT triathlon Japan Ranking

2016 NTTトライアスロン
ジャパンランキング

日本最高峰の トライアスロン シーンを トップ選手による熱き戦い

2015年に世界初の試みとして始まった「NTTジャパンランキング」は、今年も昨年同様国際トライアスロン連合（ITU）が毎週発表しているITUポイントと連動し、最新の1年間の獲得ポイントに日本選手権の特別ポイントを加え年間ランキングを決定する。

今年からASTCアジアトライアスロン選手権（廿日市）が新たにランキング対象大会となり、8月にリオデジャネイロで開催される第31回夏季オリンピック競技大会のアジア大陸別選考会も兼ねた重要なレースとして位置づけられている。

また、第32回夏季オリンピック競技大会（2020/東京）での活躍が期待されるU19の選手を対象としたジュニアランキングは、今年で10回目を迎える。スプリントディスタンスの7レースを対象に、獲得ポイントの高い4大会の合計ポイントで順位を決定する。既に3月20日（日）のアジアジュニア選手権日本代表選考会（宮崎）から戦いはスタートしており、9月のITU世界ジュニア選手権（2016/コスメル）までランキングを争う。

その他、ロングディスタンスやU23などさまざまな大会が開催される。オリンピックイヤーとなる今年、選手たちはさらなる未来を見据え、国内外のレースに挑戦する。

NTTジャパンランキング

[1]対象大会とポイント加算（2016年3月4日現在）

レベル 1	ITU 世界トライアスロンシリーズグランドファイナル ※1位 1000p/1-50位に付与	レベル 7	ITUコンチネンタルカップ・プレミアム コンチネンタルカップ ※1位 200p/1-20位に付与
レベル 2	ITU 世界トライアスロンシリーズ ※1位 750p/1-50位に付与	レベル 8	FISU 世界大学選手権 ※1位 200p/1-20位に付与
レベル 3	ITU ワールドカップ ※1位 500p/1-50位に付与	レベル 9	ITU 世界ジュニア選手権 ※1位 100p/1-10位に付与
レベル 4	ASTC アジア選手権 ※1位 400p/1-40位に付与	レベル 10	ASTC アジア U23 選手権 ※1位 100p/1-10位
レベル 5	ASTC アジアスプリント選手権 ※1位 300p/1-30位に付与	レベル 11	ASTC アジアジュニア選手権 ※1位 50p/1-10位に付与
レベル 6	ITU 世界 U23 選手権 ※1位 200p/1-20位に付与	特別 ポイント	第22回日本トライアスロン選手権（2016/お台場） ※1位 400p/1-40位に付与

【国内対象大会】

4月30日(土)

ASTCアジアトライアスロン選手権廿日市大会(広島)

5月14日(土)

ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会(神奈川)

6月26日(日)

蒲郡NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(愛知)

7月10日(日)

大阪NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(大阪)

9月25日(日)

村上NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(新潟)

10月9日(日)

第22回日本トライアスロン選手権お台場大会(東京)



<レベル1-11で高ポイントの6大会を加算(10月3日時点)>+
<日本選手権の特別ポイント>=<NTTジャパンランキング決定>

【2】ポイント算出基準と方法

- 1) 2位は1位ポイントから<0.925>を乗じたポイント。3位は2位ポイントから<0.925>を乗じたポイント。以下、順に算出。
- 2) カットオフタイム(トップから女子8%、男子5%でフィニッシュ)採用。
- 3) 最新のITUポイント上位20選手に2%の係数が与えられ、最大20%の係数が大会レベルに反映される。
- 4) レベル7のITUコンチネンタルカップ・プレミアムコンチネンタルカップは最大3大会まで加算。
- 5) ITUが毎週発表する「ITUポイント」の<Current year>ポイント順が最新のジャパンランキングとなる。

【3】大会出場資格の付与と強化費

- 1) 2016年9月26日(月)時点のITUポイント<Current year>上位35名に、第22回日本トライアスロン選手権(2016/お台場)出場資格を付与。
- 2) ジャパンランキング1~5位(予定)にJTU強化費を支給。

歴代NTTトライアスロンジャパンカップチャンピオン

女子	男子
1997 半田 恵理(東京女子体育大学)	小原 工(チームテイケイ)
1998 庭田 清美(シャクリー・NTT・稲毛)	小原 工(チームテイケイ)
1999 細谷はるな(ニデック)ノ 平尾 明子(NTT東日本・NTT西日本)	小原 工(チームテイケイ)
2000 小梅川雪絵(チームテイケイ)	西内 洋行(チームテイケイ)
2001 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	山本 淳一(シャクリー・稲毛ITC)
2002 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	西内 洋行(チームテイケイ)
2003 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	西内 洋行(チームテイケイ)
2004 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	平野 司(関西大学)
2005 上田 藍(グリーンタワー・稲毛ITC)	細田 雄一(グリーンタワー・稲毛ITC)
2006 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)	杉本 宏樹(チームテイケイ)
2007 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	山本 良介(トヨタ車体)
2008 佐藤 優香(日本橋女学館高校)	山本 良介(トヨタ車体)
2009 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2010 崎本 智子(日本食研)	山本 良介(トヨタ車体)
2011 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	細田 雄一(グリーンタワー・稲毛インター)
2012 高橋 侑子(法政大学)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2013 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2014 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2015 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)	細田 雄一(博慈会)

CHAMPION

歴代日本選手権チャンピオン

ジャパンランキング最終戦の日本トライアスロン選手権で優勝した選手には、日本選手権チャンピオンの称号が与えられる。

女子
1995 小林美智子(チームニコス)
1996 小梅川雪絵(三田工業)
1997 中西真知子(チームNTT)
1998 枇杷田深雪(大阪信愛女学院短大)
1999 小梅川雪絵(チームテイケイ)
2000 小梅川雪絵(チームテイケイ)
2001 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)
2002 中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)
2003 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2004 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)
2005 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2006 庭田 清美(アシックス・ザバス)
2007 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2008 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2009 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2010 崎本 智子(日本食研)
2011 井出 樹里(トシンパートナーズチームケンス)
2012 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2013 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)
2014 佐藤 優香(トシンパートナーズチームケンス)
2015 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)

男子
1995 田村 嘉規(西京味噌)
1996 山口 博久(埼玉県連合)
1997 星野 健一(千葉県連合)
1998 星野 健一(千葉県連合)
1999 小原 工(チームテイケイ)
2000 斎藤 大輝(アラコ)
2001 田山 寛豪(流通経済大学)
2002 福井 英郎(シャクリー・稲毛ITC)
2003 西内 洋行(チームテイケイ)
2004 田山 寛豪(チームテイケイ)
2005 平野 司(関西大学)
2006 田山 寛豪(チームテイケイ)
2007 田山 寛豪(チームテイケイ)
2008 田山 寛豪(流通経済大学職員・チームプレイブ)
2009 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2010 山本 良介(トヨタ車体)
2011 細田 雄一(グリーンタワー・稲毛インター)
2012 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2013 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2014 田山 寛豪(NTT東日本・NTT西日本/流通経済大学職員)
2015 古谷 純平(三井住友海上)

※このページの所属名は当時



ITUトライアスロンアジアカップ蒲郡大会



第17回日本ジュニアトライアスロン選手権

JTUジュニアランキング

[1]ポイント算出基準と方法

Sカテゴリー大会1位120ポイント、Aカテゴリー1位100ポイント、Bカテゴリー1位80ポイント、Cカテゴリー1位60ポイントを設定する。全カテゴリー2位以下は、1位のポイントから7.5%ずつ減点する(小数点2ケタ以下は切り捨て)。

総合1位のタイムから男子5%、女子8%以内のタイムでフィニッシュした選手が対象で、U19選手の順位順にポイントを付与する。最大4大会のポイント合計によりJTUジュニアランキングを決める。

[2]年齢区分

日本国籍を有するU19(16～19歳)の2016年度JTU登録会員。年齢は2016年12月31日現在。

[3]対象大会

<Sカテゴリー>※1位120ポイント

9月17日(土)～18日(日)ITU世界ジュニア選手権(コスメル)

<Aカテゴリー>※1位100ポイント

4月29日(金)～30日(土)ASTCアジアジュニア選手権(広島)

7月17日(日)日本U19トライアスロン選手権(長野)

<Bカテゴリー>※1位80ポイント

3月21日(月)アジアジュニア選手権日本代表選考会(宮崎)

7月3日(日)日本スプリントトライアスロン選手権(仙台)

7月10日(日)大阪NTT-ASTCトライアスロンアジアカップ(大阪)

<Cカテゴリー>※1位60ポイント

JTU公式大会(U19)※調整中

ITUジュニア・コンチネンタルカップ※調整中

2015年ジュニアランキング

女子

順位	氏名	所属	JTU登録地	ポイント	合計大会数
1	久保 瑛南	チームケッズ山梨	山梨	353	4
2	中島 帆波	チームケッズ京都	学連	344	4
3	酒井 美有	チームケッズ山梨	愛知	305	5
4	杉原 有紀	チームケッズ山梨	山梨	253	3
5	枝光 美奈	福岡県立大川樟風高校	福岡	216	5
6	瀬賀 楓佳	チームケッズ山梨	山梨	181	3
7	加後 美咲	チームケッズ京都	学連	153	2
8	有蘭 早優	日本大学	学連	134	2
9	松居 智咲	愛知県協会	愛知	123	2
10	潮田 小波	愛知県協会	愛知	89	2
11	飯塚 唯	栃木県協会	栃木	55	1
12	橋本 紗英	京都府協会	京都	51	2
13	大澤 侑愛	山梨県連合	山梨	48	1
14	見形知亜莉	栃木県協会	栃木	40	1
15	前田 乙乃	愛知県協会	愛知	38	1
16	中村 世愛	熊本県連合	熊本	29	1

男子

順位	氏名	所属	JTU登録地	ポイント	合計大会数
1	山本 康貴	チームケッズ京都	学連	280	3
2	仲尾 俊祐	保津川トライアスロン倶楽部	京都	254	3
3	肥後 巧	東海大学	学連	232	3
4	玉崎 稜也	千葉県連合	千葉	123	2
5	青木 威澄	保津川トライアスロン倶楽部	大阪	107	2
6	大久保洋哉	チームケッズ京都	京都	97	2
7	北條 巧	日本体育大学	学連	85	1
8	堀井 亮汰	宇都宮村上塾	栃木	73	2
9	堀田 智也	京都府協会	京都	70	1
10	小原 北斗	鳥取県協会	鳥取	66	2
11	スピノ騎士	保善高校	東京	65	2
12	山崎 向陽	トライアスロンクラブアルファ	愛知	63	2
13	岩本 敏	流通経済大学	学連	62	1
14	小林 慶次	宮城県協会	宮城	54	2
15	昼神 諒	JSS深井	大阪	53	2
16	安松 青葉	茨城県協会	茨城	29	1
17	岩瀬 大周	山梨県連合	山梨	24	1
18	水野泉之介	チームゴーヤー名古屋	愛知	15	1
19	石関 玲於	東京ヴェルディ	神奈川	11	1
20	前田 能宜	愛知県協会	愛知	3	1
21	新村 起丈	東京都連合	東京	2	1

JTUロングディスタンス・ トライアスロン 強化指定対象大会

日本国籍を有する18歳以上(2016年12月31日現在)のJTU登録選手を対象にロングディスタンス強化指定が行われる。認定期間は2016年1月1日から2016年12月31日までの12カ月。

強化S指定

- S-1) ITUロングディスタンス世界選手権5位以内
- S-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合10位以内
- S-3) アイアンマン70.3世界選手権5位以内

強化A指定

- A-1) ITUロングディスタンス世界選手権6~10位(40%)
- A-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合11~20位
- A-3) 各地アイアンマン大会総合1位(20%)
- A-4) アイアンマン70.3世界選手権総合6~10位(40%)
- A-5) アジアロングディスタンス選手権1位(10%/35%)
- A-6) 日本ロングディスタンス選手権1位(10%/35%)

強化B指定

- B-1) ITUロングディスタンス世界選手権16位以内(40%)
- B-2) アイアンマン世界選手権ハワイ大会総合21~30位
- B-3) 各地アイアンマン大会総合5位以内(25%)
- B-4) アイアンマン70.3世界選手権16位以内(40%)
- B-5) 各地アイアンマン70.3大会3位以内(35%)
- B-6) アイアンマン世界選手権ハワイ大会「プロ」部門出場
- B-7) ITUロングディスタンスシリーズ3位以内(35%)
- B-8) アジアロングディスタンス選手権3位以内(20%/40%)
- B-9) 日本ロングディスタンス選手権3位以内(20%/40%)
- B-10) 佐渡国際トライアスロン大会Aタイプ1位(10%/35%)
- B-11) 五島長崎国際トライアスロン大会Aタイプ1位
- B-12) 五島長崎国際トライアスロン大会Bタイプ1位
- B-13) みやじま国際パワートライアスロン大会エリート部門1位(10%/35%)
- B-14) 全日本トライアスロン宮古島大会3位以内

強化C指定

- C-1) ITUロングディスタンス世界選手権20位以内(45%)
 - C-2) 各地アイアンマン大会総合10位以内(40%)
 - C-3) アイアンマン70.3世界選手権「プロ」の部出場者
 - C-4) 各地アイアンマン70.3大会:総合8位以内(30%/50%)
 - C-5) アジアロングディスタンス選手権8位以内(30%/40%)
 - C-6) 日本ロングディスタンス選手権8位以内(25%/40%)
 - C-7) 佐渡国際トライアスロン大会Aタイプ2~3位
 - C-8) 五島長崎国際トライアスロン大会Aタイプ2~3位
 - C-9) 五島長崎国際トライアスロン大会Bタイプ2~3位
 - C-10) みやじま国際パワートライアスロン大会エリート部門3位以内(20%/25%)
 - C-11) 全日本トライアスロン宮古島大会4~8位
- ※(%)は「順位÷スタート人数」の順位率以内で完走。順位率が二つの場合は(男子/女子)としている。

JTU主催・公認大会

- 6月12日(日)
アイアンマン70.3セントレア知多・常滑ジャパン(愛知)
- 7月3日(日)
第13回日本スプリントトライアスロン選手権(宮城)
- 7月17日(日)
第6回日本U23トライアスロン選手権(長野)
- 9月4日(日)
日本学生トライアスロン選手権(香川)
- 9月10日(土)
第18回全国高校生チャレンジトライアスロン(東京)
- 9月11日(日)
オールキッズトライアスロン大会(東京)
- 10月2日(日)
第70回国民体育大会/2016希望郷いわて国体
トライアスロン競技(岩手)
- 10月29日(土)
ITUトライアスロンワールドカップ(2016/宮崎)
- 11月6日(日)
第16回日本デュアスロン選手権(福島)

※JTU主催・共催大会の一部。全大会はJTUホームページ「JTU主催・共催・公認大会」を参照

ITUトライアスロンアジアカップ村上大会

第21回日本トライアスロン選手権東京港大会

